



# 5 インストール 完了後の作業

---

管理ユーティリティのインストール方法、ネットワーク上のPCのセットアップ方法などインストールを完了した後に行う作業について説明しています。これらの作業は運用中にも確認が必要となる場合があります。

# 管理ユーティリティのインストール

添付の「EXPRESSBUILDER」CD-ROMには、Express5800/ftサーバ監視用の「ESMPRO/ServerAgent」、およびExpress5800シリーズ管理用の「ESMPRO/ServerManager」などが収録されています。これらの管理ユーティリティをExpress5800/ftサーバ、またはExpress5800/ftサーバを管理するコンピュータ(管理PC)にインストール・セットアップしてください。

## システムのアップデート ～サービスパックの適用～

システムのアップデートは次のような場合に行います。

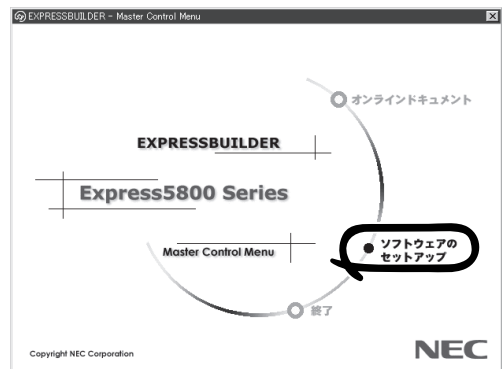
- システム構成を変更した場合
- システムを修復した場合
- バックアップ媒体からシステムをリストアした場合  
(サービスパック関連のExpress5800用差分モジュールを適用したシステムの場合は、再度RURのフロッピーディスクを使用してExpress5800用差分モジュールを適用してください。このときサービスパックを再適用する必要はありません。)



本装置はServicePack 1が含まれたWindows Server 2003 CD-ROMを使用してインストールします。

管理者権限のあるアカウント (Administratorなど) で、システムにログインした後、本体のCD-ROMドライブに「EXPRESSBUILDER」CD-ROMをセットしてください。

表示された画面「マスターコントロールメニュー」の[ソフトウェアのセットアップ]を左クリックし、メニューから[システムのアップデート]をクリックすると起動します。以降は画面に表示されるメッセージに従って処理を進めてください。



システムのアップデートを行った後には、GeminiEngine Control Softwareの再インストールが必要です。「GeminiEngine Control Softwareのインストール」(6-13ページ)を参照して、適用を行ってください。

# ESMPRO/ServerAgent

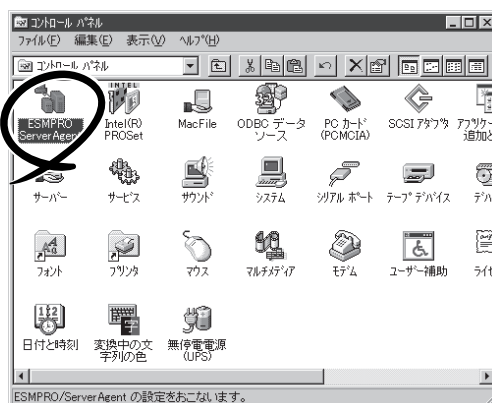
ESMPRO/ServerAgentは、「セットアップ」で自動的にインストールされます(ビルド・トゥ・オーダーのハードディスクドライブにも出荷時にインストール済みです)。  
[スタート]メニューの[プログラム]にインストールしたユーティリティのフォルダがあることを確認してください。ここでは個別にインストールする場合の手順と注意事項を説明します。



Express5800/ftサーバを連続稼働させるには必ず必要であるためインストールされていることを確認してください。

ESMPRO/ServerAgentの詳細な設定は[コントロールパネル]の[ESMPRO ServerAgent]アイコンをダブルクリックして表示されるプロパティダイアログボックスで変更することができます。

設定項目に関する詳細は、[ヘルプ]をクリックすると表示されるオンラインヘルプを参照してください。



## 動作環境

ESMPRO/ServerAgentを動作させることができるハードウェア/ソフトウェア環境は次の通りです。

### ● ハードウェア

- － インストールする装置  
Express5800/ftサーバ本体
- － メモリ  
OSの動作に必要なメモリ+25.0MB以上
- － ハードディスクドライブの空き容量  
50.0MB以上
- － モデム  
通報サービス機能に限り、OMRON社製USBモデム(ME5614U2)が利用可能です。他のモデムおよび機能でのモデムの使用はできません。

### ● ソフトウェア

Windows Server 2003 SP1

## セットアップを始める前に

インストールならびにセットアップの前に必ずお読みください。

ESMPRO/ServerAgentを動作させるためにはTCP/IPとTCP/IP関連コンポーネントのSNMPの設定が必要です。

---

### TCP/IPの設定

TCP/IPの設定についてはスタートメニューから起動するヘルプを参照してください。

---

### SNMPサービスの設定

#### <SNMPサービスのインストール>

1. [コントロールパネル]の[プログラムの追加と削除]を開く。
2. [Windows コンポーネントの追加と削除]をクリックする。
3. Windows コンポーネントウィザードで[管理とモニタツール]を選択し、[詳細]をクリックする。
4. [簡易ネットワーク管理プロトコル(SNMP)]のチェックボックスをチェックする。
5. [次へ]をクリックする。  
ファイルのコピーが始まります。
6. ファイルのコピー終了後、[完了]をクリックする。

## <SNMPサービスの設定変更>

1. [コントロールパネル]の[管理ツール]をダブルクリックする。
2. [管理ツール]の[サービス]を起動する。
3. サービス一覧から[SNMP Service]を選択し、[操作]メニューの[プロパティ]を選択する。  
「SNMPのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
4. [トラップ]プロパティシートの[コミュニティ名]ボックスに「public」と入力し、[追加]をクリックする。

### 🔑 重要

- ESMPRO/ServerManager側の設定で受信するトラップのコミュニティをデフォルトの「\*」から変更した場合は、ESMPRO/ServerManager側で新しく設定したコミュニティ名と同じものを入力します。
  - ESMPRO/ServerAgentからのトラップがESMPRO/ServerManagerに正しく受信されるためには、双方のコミュニティ名が一致する必要があります。
5. [トラップ送信先]の[追加]をクリックし、[IPホストまたはIPXアドレス]ボックスに送信先のESMPRO/ServerManagerマシンのIPアドレスを入力後、[追加]をクリックする。

### 🔑 重要

トラップ送信先に指定されている相手ESMPRO/ServerManagerのIPアドレス(またはホスト名)をマネージャ通報(TCP/IP)の設定で指定した場合、重複していることを警告するメッセージを表示します。同一のESMPRO/ServerManagerを指定するとアラートが重複して通報されます。

6. [セキュリティ]プロパティシートを表示し、以下の設定をする。
  - 「受け付けるコミュニティ名」に手順4で入力したコミュニティを追加
  - その権利を「読み取り、作成」(「READ CREATE」)または「読み取り、書き込み」(「READ WRITE」)に設定
  - 「すべてのホストからSNMPパケットを受け付ける」を選択

### 🔑 重要

- 手順4で「public」以外のコミュニティ名を入力した場合は、「受け付けるコミュニティ名」にもその値を追加してください。
- 「受け付けるコミュニティ名」の権利を「READ CREATE」または「READ WRITE」以外の権利に設定すると、ESMPRO/ServerManagerからの監視ができなくなります。

#### <特定のホストからSNMPパケットのみ受信するように設定する場合>

「これらのホストからSNMPパケットを受け付ける」を選び、パケットを受信するホストのIPアドレス、ESMPRO/ServerAgentをインストールするサーバのIPアドレス、およびループバックアドレス(127.0.0.1)を指定する。

<特定コミュニティからのSNMPパケットのみ受信するように設定する場合>

SNMPパケットを受け付けるコミュニティ名をデフォルトの「public」から任意の名前に変更する。

 **重要**

- コミュニティ名を変更した場合は、[コントロールパネル]からESMPRO/ServerAgentのコミュニティ変更登録を行う必要があります。コミュニティの変更登録には[全般]タブの[SNMPコミュニティ]リストボックスを使います。
- ESMPRO/ServerManagerからのSNMPパケットをESMPRO/ServerAgent側で正しく受信できるようにするためにはESMPRO/ServerManager側の設定の送信コミュニティ名とESMPRO/ServerAgent側のSNMPサービスが受け付けるコミュニティ名を同じにしてください。

7. ネットワークの設定を終了する。

 **重要**

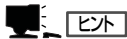
- OSのインストールの際にサービスパックを適用してからSNMPサービスを追加した場合は、再度サービスパックを適用してください。SNMPサービスが正しく動作せず、ESMPRO/ServerAgentが動作しなくなることがあります。
- ESMPRO/ServerAgentの動作にはSNMPサービスが必須です。ESMPRO/ServerAgentをインストールした後にSNMPサービスを削除してしまった場合は、SNMPサービスをインストール後、ESMPRO/ServerAgentを再インストールしてください。
- 他社製ソフトウェアの中には、SNMPサービスを使用しているものがあります。このようなソフトウェアがインストールされている状態で、SNMPサービスとESMPRO/ServerAgentをインストールすると、ESMPRO/ServerAgentのサービスが起動できない問題が発生する場合があります。このような場合は、いったんSNMPサービスを削除して、SNMPサービスを再インストールしてください。その後で、ESMPRO/ServerAgentと上記他社製ソフトウェアを再インストールしてください。

# インストール

ESMPRO/ServerAgentはExpress5800/ftサーバのインストール、または再インストールの時に同時に自動でインストールされます。

マニュアルでのインストールするときは、EXPRESSBUILDERのマスターコントロールメニューから行います。

1. ユーザ名「administrator」でログインする。
2. 「EXPRESSBUILDER」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。



本体に接続されたCD-ROMドライブまたはLAN Managerで接続されたネットワーク上のCD-ROMドライブでもかまいません(以下、これらをまとめて「CD-ROMドライブ」と呼ぶ)。

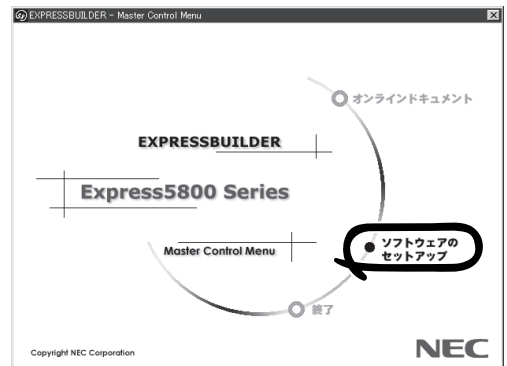


ネットワーク上のCD-ROMドライブから実行する場合は、ネットワークドライブの割り当てを行った後、そのドライブの「MC¥1ST.EXE」を実行してください。エクスプローラのネットワークコンピュータからは起動しないでください。

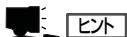
Autorun機能によりEXPRESSBUILDERのマスターコントロールメニューが自動的に表示されます。

3. [ソフトウェアのセットアップ]から[ESMPRO]をクリックする。

ESMPROセットアップが起動し、メインメニューが表示されます。



4. ESMPROセットアップのメインメニューで[ESMPRO/ServerAgent]をクリックする。



OSの種類に合わせて、選択できるメニューが変わります。(インストールできないものは、グレー表示になります)



### 重要

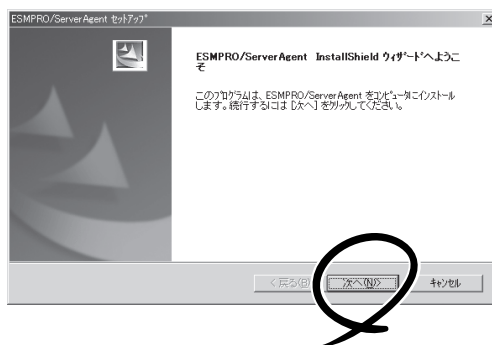
- ダブルクリックでメニューを選択すると同じダイアログボックスを2つ表示することがあります。[終了]をクリックしてどちらか一方のダイアログボックスを閉じてください。
- セットアップの実行中に[キャンセル]をクリックすると、インストールを中止するかどうかをたずねるメッセージが表示されます。メッセージボックスで[中止]をクリックするとインストールを中止できます(メインメニューは表示されたままです)。ただし、途中でセットアップされたファイルの削除は行われません。
- すでにESMPRO/ServerAgentがインストールされている場合は、「設定」-「コントロールパネル」-「プログラムの追加と削除」より、前バージョンを削除してから、新バージョンのインストールを行ってください。

5. セットアッププログラムが自動機種判断を行うので、そのまま何も操作しないで待つ。

### 重要

セットアッププログラムが機種を判断できなかった場合には、ESMPRO/ServerAgentのセットアップを中止します。

6. [次へ]をクリックする。



7. ESMPRO/ServerAgentのインストール先パス名を入力し、[次へ]をクリックする。

デフォルトではルートパーティションの¥ESMディレクトリの下にESMPRO/ServerAgentのモジュールがインストールされます。特に問題がなければ、このまま[次へ]をクリックしてください。

インストール先を変更したい場合は、[参照]をクリックして希望するインストール先のディレクトリをドライブ名を含むフルパスで指定してから[次へ]をクリックしてください。

8. インストール終了のウィンドウが表示されたら、[OK]をクリックする。

インストールが終了します。インストールしたESMPRO/ServerAgentの機能はOSの再起動後に有効になります。

### 重要

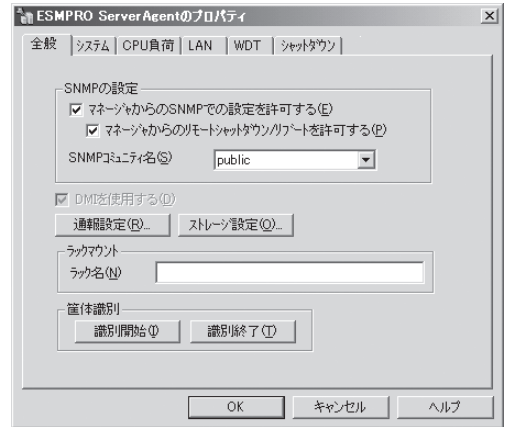
- ESMPRO/ServerAgentのインストール後、SNMPサービスは停止状態になっています。OSの再起動後、SNMPサービスは開始されます。
- ESMPROのインストールが終了してもESMPROセットアップのメインメニューは消えません。他のダイアログボックスに隠れることがあるので注意してください。ESMPROセットアップを終了するときはメインメニューの[終了]をクリックしてください。



## ESMPRO/ServerAgentのセットアップ

インストールされたESMPRO/ServerAgentの各種設定は出荷時の設定のままです。[スタート]から[設定]→[コントロールパネル]をクリックして、[コントロールパネル]を開いてください。

[コントロールパネル]の[ESMPRO ServerAgent]アイコンをダブルクリックするとプロパティダイアログボックスが表示されます。ダイアログボックス内の各シートにある設定を使用する環境に合わせてください。セットアップをする上で注意していただきたい点や、知っておいていただきたいことなどについて、別冊のユーザーズガイドの5章の「補足説明」で説明しています。セットアップをする際や、正しく動作していないのでは?と思われたときに参照してください。



# アンインストール

ESMPRO/ServerAgentおよびBMCコンフィギュレーション、BMC FW Update Serviceのアンインストールの方法について説明します。

---

## ESMPRO/ServerAgentのアンインストール

ESMPRO/ServerAgentのアンインストールの方法について説明します。



### ESMPRO/ServerAgentのアンインストールについて

- システムが完全に起動してからアンインストールを始めてください。
- システム起動直後にESMPRO/ServerAgentのアンインストールを行うと、[サービスの削除中...]のダイアログボックスを表示した状態でセットアッププログラムが止まってしまうことがあります。いったん「アプリケーションの切り換え」などで強制終了してください。その後システムが完全に起動してからアンインストールしてください。
- エクスプレス通報サービスをご利用の場合、ESMPRO/ServerAgentのアンインストールの前にエクスプレス通報サービスを削除してください。エクスプレス通報サービスの削除方法については「エクスプレス通報サービスインストールガイド」を参照してください。
- システム起動直後にアンインストールを実行すると失敗する場合があります。エラーメッセージが表示された場合は、しばらく待ってから再度実行してください。

### ● EXPRESSBUILDERを使用してアンインストールする方法

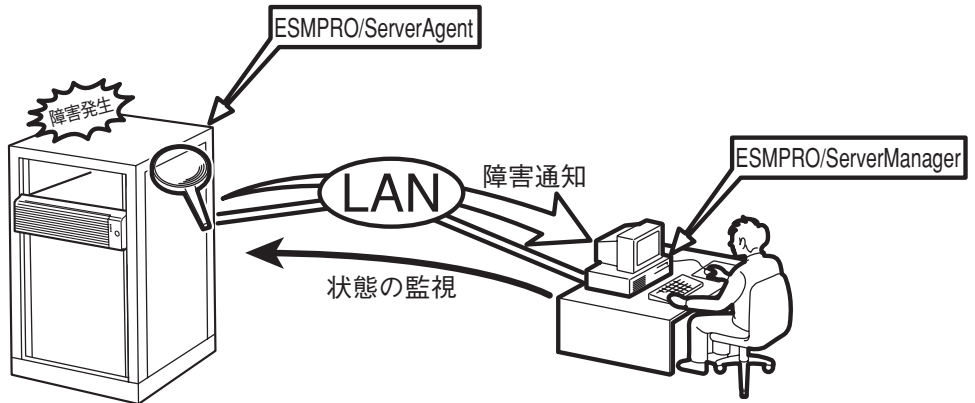
1. 「インストール」を参照してESMPROセットアップのメインメニューを表示させる。
2. [ESMPRO/ServerAgent]をクリックする。  
[よろこ]というダイアログボックスが表示されます。
3. [削除]を選択して[次へ]をクリックする。  
以上でアンインストールされます。

### ● EXPRESSBUILDERを使用せずにアンインストールする方法

1. [コントロールパネル]から[プログラムの追加と削除]を起動する。
2. [ESMPRO ServerAgent]を選択して[変更と削除]をクリックする。  
[よろこ]というダイアログボックスが表示されます。
3. [削除]を選択して[次へ]をクリックする。  
以上でアンインストールされます。

# ESMPRO/ServerManager

Express5800/ftサーバにインストールされたESMPRO/ServerAgentと連携して、Express5800/ftサーバの状態の監視や障害通知の受信をします。



また、ESMPRO/ServerManagerはExpress5800/ftサーバ内の故障したモジュールを交換する際に本体からの論理的なモジュールの切り離しや交換後の論理的な組み込みを操作することができます。

ESMPRO/ServerManagerのインストール方法や運用上の注意事項については別冊のユーザーズガイドを参照してください。

# DianaScope

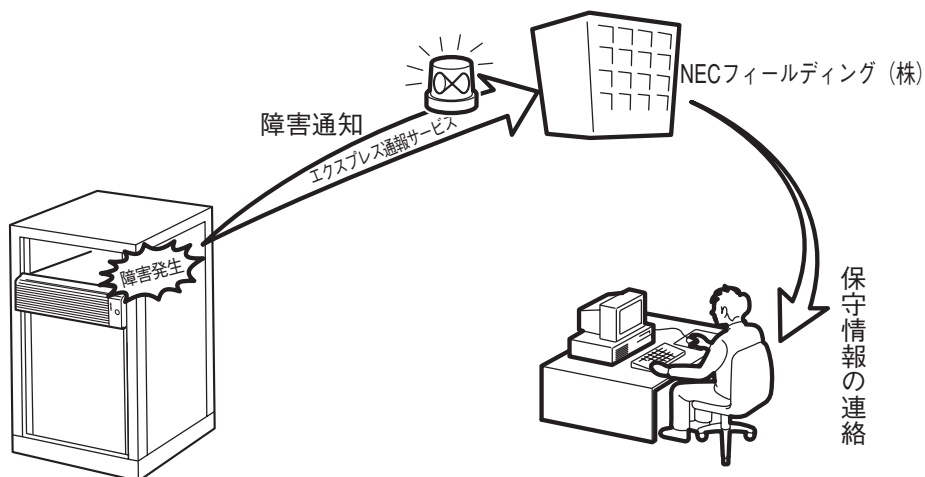
DianaScopeはExpress5800シリーズをリモート管理するためのソフトウェアです。  
本装置はリモートマネジメントカード(320Fb-L/320Fb-LRはオプション)を装着している場合のみ、DianaScopeからリモート管理することができます。  
DianaScopeのインストールやセットアップについてはオンラインドキュメントを参照してください。

# エクスプレス通報サービス

エクスプレス通報サービスは、お使いになるExpress5800/ftサーバを保守サービス会社が随時その状態を監視し、何らかの異常を検出したときにお客様に通報するサービスです。

ご利用には別途、保守契約が必要です。

ヒント



エクスプレス通報サービスの契約を結んでいる場合は、別冊のユーザーズガイドを参照して、サービスを受けるためのセットアップをしてください。

また、エクスプレス通報サービスのインストールに関しては、インストレーションガイドを参照してください。

# GeminiEngine Control Softwareのバージョン確認方法

フォルト・トレラントを実現している各種ソフトウェアの集合であるGeminiEngine Control Softwareのバージョンを確認する方法について説明します。なお、Express5800/ftサーバに装置を増設する場合など、動作中のGeminiEngine Control Softwareのバージョンを確認する必要がある場合に実施していただくことになります。

下記の手順に従ってバージョンを確認してください。

1. 管理者(Administrator)権限のあるユーザでログインする。
2. スタートメニューからコントロールパネルを開く。
3. 「プログラムの追加と削除」を開く。

本装置の機種名に対応する「GeminiEngine Control Software」のバージョンを確認できます。

# Windowsサービスパックの適用に関する注意

Express5800/ftサーバは、お客様の判断でサービスパックを適用しないでください。



サービスパックを適用したい場合は、PP・サポートサービスをご契約の上、PP・サポートサービスのWebページで適用状況を確認し、サービスパックを適用してください。

# 画面の色(32ビット)の使用について

本装置では標準適用されるグラフィックドライバの画面の色を16ビットとしております。

これは、本装置では、画面を頻繁に更新している状態で、フロッピーディスクへのアクセスを実施した場合、大変まれではありますが、下記メッセージが表示され、フロッピーディスクへのアクセスができないことがあることを予防するための処置です。

このボリュームは認識可能なファイルシステムではありません。必要なシステムドライバがすべて読み込まれているか、ボリュームが壊れていないか確認してください。

この場合でも、フロッピーディスクおよびデータが破壊されることはなく、フロッピーディスクへ再度アクセスすることで処理は完了します。

上記制約の元で、画面の色を32ビットにしての使用を必要とされる場合は、以下の手順により、専用のグラフィックドライバの適用をお願いします。

1. Windows 2003にアドミニストレータ権限のあるユーザでログオンする。
2. 「EXPRESSBUILDER」をCD-ROMドライブにセットする。
3. スタートメニューより「ファイル名を指定して実行(R)」を選択する(「ファイル名を指定して実行」ダイアログが表示されます)。
4. “名前(O)”欄に「D:\HAS\W2K3\GA32SET.BAT」(“D”はCD-ROMドライブのドライブ文字)と入力し、[OK]をクリックする。

以上の操作の後、システムを再起動してください。

32ビットの画面を本装置標準の16ビット用に戻すには、上記手順の(4)の操作でファイル名に「GA16SET.BAT」を実行してください。



# システムドライブの圧縮について

システムドライブを圧縮するとき、ルートディレクトリとWindowsディレクトリを圧縮しないでください。(Windows Server 2003のWindowsディレクトリは”Windows”です。)

圧縮された場合、Windowsファイル保護(WFP)によって、署名のないドライバが、署名ありのドライバに置き換えられる場合があります、可用性を保証できなくなります。

# Windows Update(セキュリティパッチ適用)について

Express5800/ftサーバにおいて、Windows Update機能を利用してWindowsモジュールの更新を行う場合には、各更新の内容を確認した上で実施してください。

Express5800/ftサーバにおけるセキュリティパッチ・QFEの評価状況は、PP・サポートサービスのWebページにて公開されています。Express5800/ftサーバでのOSに関する更新については、PP・サポートサービスのWebページにて公開されているセキュリティパッチ・QFEのみの適用を推奨しています。

Express5800/ftサーバでのセキュリティパッチ・QFEの評価についてMicrosoft社が公開するセキュリティパッチについて、その重要度によりPP・サポートサービスにおいて、以下のように対応しています。

- 重要パッチ(弊社にて重要で至急適用が必要と判断したもの)

パッチが発行され次第評価を実施しアナウンスを行います。

過去の例ではNimdaワームなど危険度が高いものは至急に評価を実施します。

- セキュリティロールアップパッケージ(SRP)

SRPが発行されるのに伴い評価を実施し、PP・サポートサービスのWebページにてアナウンスを行います。

- その他のパッチ

Windows OS標準機能に関するセキュリティパッチは定期的にとまとめて評価を実施し、PP・サポートサービスのWebページにてアナウンスを行います。

PP・サポートサービスのWebページに掲載されていないOSに関する更新について、疑問点・不明点がある場合には、PP・サポートサービスにお問い合わせください。